書籍文化史（電子書籍）

図書出版
株式会社 かなえ
Kanae Publishing Co.,Ltd.









本を知ることは、時代を知ること。日本の書籍文化を読み解く、近世書物研究の第一人者、鈴木俊幸編集の全19集の学術アーカイブ。

2025年NHK大河ドラマ『べらぼう～蔦重栄華乃夢噺～』の時代考証を担当した、中央大学・鈴木俊幸教授。その研究的視座のもと、19年にわたり刊行されてきた『書籍文化史』全19集が、電子書籍として新たな研究環境へ。

書誌学、国文学、歴史学、出版史、印刷史をはじめ、多様な学問領域を横断し、「書籍」という切り口から日本の文化と社会を探究する。貴重な研究成果の蓄積を、これからの研究・教育に活かすための学術資料です。

一冊の本から、広がる研究の世界。

【推薦】 飯倉 洋一　大阪大学 名誉教授

『書籍文化史』が電子版で復刊されるという。快哉を叫びたい。そもそも本誌は鈴木俊幸氏が自らの科研費で19年間出し続けたという希有な研究誌。書物に関する論考を公募して成果発表の場を提供するなど、書物研究を盛んにした功績はとてつもなく大きい。蔦屋重三郎研究をはじめとする鈴木氏の業績は枚挙に暇がなく、わが先師中野三敏も一目置いていた。だが『書籍文化史』を所蔵する図書館は少なく、閲覧するのは容易ではなかった。今回の復刊で渇を癒す人は多いに違いない。ともに慶びたい。

【編者略歴】 鈴木 俊幸　中央大学文学部 教授

北海道札幌市生まれ。1979年に中央大学文学部国文科卒、1985年に同大学院博士課程単位取得。1992年に中央大学文学部専任講師、1993年に助教授、1998 年に教授。
2005年に日本出版学会賞、2008年にゲスナー賞、2013年に岩瀬弥助記念書物文化賞を受賞。2019年に『近世読者とそのゆくえ』で第27回やまなし文学賞（研究・評論部門）を受賞。

【主な著書】

『書籍文化史料論』　勉誠出版　2019年５月刊行
『本の江戸文化講義：蔦屋重三郎と本屋の時代』　KADOKAWA　2025年１月刊行
『「蔦重版」の世界：江戸庶民は何に熱狂したか』　NHK出版新書　2025年２月刊行
『明治の出版革命　書店界の風雲児「兎屋」の興亡』　角川選書 2026年５月刊行

おすすめします

文学史、近世史、国文学、書誌学、図書館学、メディア史の研究者、大学図書館・公共図書館など。

【刊行予定・収録一覧】

配本回	収録集	発行年月	eISBN	本体価格	刊行予定
1	1～7	2000 年～ 2006 年	978-4-86759-863-4	33,000 円＋税	2026/11/ 下旬
2	8～13	2007 年～ 2012 年	978-4-86759-864-1	44,000 円＋税	2026/11/ 下旬
3	14～19	2013 年～ 2018 年	978-4-86759-865-8	55,000 円＋税	2026/11/ 下旬

※価格は同時アクセス１のものとなります。同時アクセス３は１アクセスの倍の価格となります。

株式会社かなえ
〒171-0014　東京都豊島区池袋2-30-18-202
TEL : 03-6912-7238　FAX : 03-6912-7239
Email : info@kanae-book.co.jp
URL : https://kanae-book.co.jp

取扱店

紀伊國屋書店 学術電子図書館
KinoDen
Kinokuniya Digital Library

【書籍文化史　総目次（一部抜粋）】

集	発行年月日	標題
1	2000年2月	学者の内職ー松崎慊堂と「誠忠旧家録」ー近世書籍文化史研究文献 目録　補遺
2	2001年1月	臨川寺所蔵「吉良流礼法書」について　近世書籍文化史研究文献 目録ー補遺２ー
3	2002年1月	寛永期の江戸の本屋・杉田勘兵衛尉　近世書籍文化史研究文献 目録ー補遺３ー
4	2003年1月	"寛政十年の近江国犬上郡東沼波村農民所蔵の書物に関する報告書「書物留帳」ー翻刻と解説ー" 近世書籍文化史研究文献 目録ー補遺４ー
5	2004年1月	渋江抽斎編『護痘要法』中丸昌庵旧蔵本　近世書籍文化史研究文献 目録ー補遺５ー
6	2005年1月	資料紹介 杵築市立図書館梅園文庫蔵『古今和歌集』他表紙裏資料　近世書籍文化史研究文献 目録ー補遺６ー
7	2006年1月	俳諧歌撰集における「在」字地名の意義ー近江日野「月盛」の地域移動ー 近世書籍文化史研究文献 目録ー補遺７ー
8	2007年1月	近世大坂印人些事　信州中野領 在村漢学者 山田松齋『古文孝經』古活字本の覆刻と考証
9	2008年1月	江戸の字姿ということー松崎慊堂のこだわり？『陶淵明集』を中心にー　『増補改訂 近世書籍研究文献目録』補遺
10	2009年1月	石翁三年忌追福歌集『絡石の錦』について　『増補改訂 近世書籍研究文献目録』補遺２ 「書籍文化史料分類目録」補遺
11	2010年1月	平野神社御文庫講と平田篤胤　『増補改訂 近世書籍研究文献目録』補遺３
12	2011年1月	墨本『香炉記』揮毫者の憂鬱　『国書総目録』書誌・書目関係索引 『増補改訂 近世書籍研究文献目録』補遺４
13	2012年1月	『唐詩選墨本』広告の嘘？ー河保寿についての些話ー　『増補改訂 近世書籍研究文献目録』補遺５
14	2013年1月	書籍の文化と文字環境　『増補改訂 近世書籍研究文献目録』補遺６
15	2014年1月	江戸の書籍出版から一印刷法と版木、そして校正の例ー　『増補改訂 近世書籍研究文献目録』補遺７
16	2015年1月	寛永二十年版系『録内御書』の一部再刻をめぐって　『近世・近代初期 書籍研究文献目録』補遺１
17	2016年1月	「おみくじ」の源流に就いてー「歌占本」の紹介ー　『近世・近代初期 書籍研究文献目録』補遺２
18	2017年1月	名古屋の本屋より転じた本居内遠の年譜　『近世・近代初期 書籍研究文献目録』補遺３
19	2018年1月	古活字版悉皆調査目録稿（九）　『近世・近代初期 書籍研究文献目録』補遺４

※ 同時３アクセスの価格です

書籍を切り口に、多彩な学問領域をつなぐ。

書籍は、文学作品を収める器であるだけではありません。時代の思想や社会、出版・流通のあり方、人々の知識や文化を映し出す、歴史を読み解くための重要な資料です。
『書籍文化史』は、書誌学、国文学、歴史学、思想史、宗教史、教育史、美術史、芸能史、科学史、出版史、印刷史など、多様な分野から書籍とその周辺に広がる文化を探究する研究シリーズです。
分野ごとに蓄積されてきた研究成果や問題意識を共有し、領域を越えた新たな研究の可能性をひらく。その理念のもとに刊行された全19集を、電子書籍としてご活用いただけます。











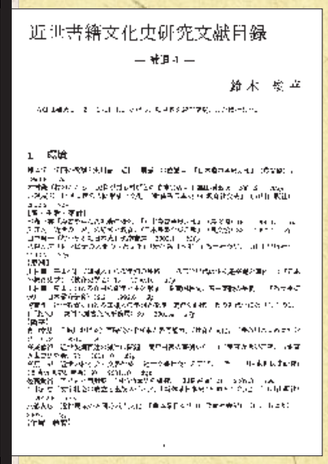







江戸の字姿ということ


名古屋の本屋より転じた本居内遠の年譜


近世書籍文化史研究文献目録

